





# ご注意

本書の中に含まれる情報は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシス ホールディングス株式会社の所有するものであり、アライドテレシスホールディングス株式会社の 同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告無く本書の全体 または一部を修正・改訂することがあります。また、改良のため製品の仕様を予告無く変更するこ とがあります。

Copyright © 2005 アライドテレシスホールディングス株式会社

開発元 株式会社アライドテレシス R&D センター山梨

## 商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、インテルおよび Pentium は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまた はその子会社の商標または登録商標です。

本書の中に記載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2005 年 8 月 Rev.A 初版

### ユーザーサポート

**アライドテレシス株式会社 サポートセンター** http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/

 TEL:
 フリーダイヤル
 0120-860772

 携帯電話/PHSから:
 045-476-6203

 月~金(祝・祭日を除く)
 9:00~12:00 13:00~18:00

# 目次

Chapter 1 はじめに	6
1.1 AT-VoN について	
1.2 動作環境	9
Chapter 2 インストール/アンインストール	10
2.1 インストールの前に	
2.2 インストール	
2.3 アンインストール	15
Chapter 3 AT-VoN を使う	18
3.1 機器の接続	
3.2 AT-VoNを起動する	19
3.3 映像を送信する	
3.3.1 DV カメラの設定	
3.3.2 宛先アドレスの指定	
3.3.3 送信の開始	
3.4 映像を受信する	
3.4.1 受信の開始	
3.5 マルチキャスト機能を使用する	
3.5.1 マルチキャストアドレスを決定する	
3.5.2 マルチキャストで送信する	
3.5.3 マルチキャストで受信する	
3.6 受信映像を外部機器で表示する(Windows XP <b>の</b> み)	
3.6.1 必要な機器	
3.6.2 外部機器の接続	
3.6.3 受信モードの設定	
3.6.4 受信の開始	
Chapter 4 アプリケーション各部の説明	24
4.1 ツールバー	
4.1.1 送信ツールバー	24
4.1.2 受信ツールバー	24
4.1.3 基本ツールバー	
4.2 メニュー	
4.2.1 [ファイル(F)] メニュー	
4.2.2 [送信(S)] メニュー	
4.2.3 [受信(R)] メニュー	
4.2.4 [表示(V)] メニュー	
4.2.5 [ヘルフ(H)] メニュー	40
4.3 ダイアログ	41
4.3.1 送信プロパティダイアログ	
4.3.2 マルチキャスト送信設定ダイアログ	

4.3.3 受信プロパティダイアログ	
4.3.4 <b>バージョン情報ダイアログ</b>	
Chapter 5 その他の機能	46
5.1 AT-VoN コマンドラインオプション	
5.1.1 使用方法	
5.1.2 制限事項	
Chapter 6 よくある質問(FAQ)	50

# <u>Chapter 1</u>

# はじめに

# 1.1 AT-VoN について

#### ● 製品の概要

AT-VoNは、DV(デジタルビデオ)の高品質な映像をIPネットワーク上でリアルタイムに送受信するソフトウェアです。AT-VoNを使用することで、テレビ電話システムやテレビ会議システムなどのマルチメディア環境を安価で簡単に構築できます。

- AT-VoN の特長
  - ■約30Mbpsの広帯域を使い、テレビと同等な高品質の映像を送受信できます。
  - IEEE1394 インターフェースを持つ DV 規格の機器を使用できます。
  - IPv4 だけでなく IPv6 にも対応しています。(Windows XP のみ対応)
  - ■1対多のマルチキャスト通信が可能です。
  - ■わかりやすいユーザーインターフェースにより、コンピューターに不慣れな方でも簡単に操作を行えます。
  - ■低スペックのコンピューター等で起こる、描画の遅延による映像の劣化を最小限に抑える機能を持っています。
  - 画質を調節することで、ネットワークの状態が悪い場合にも対応できます。
  - 受信した映像を IEEE1394 端子に出力することができます。(Windows XP のみ対応)
- AT-VoN で出来ること
  - ■映像の送受信(片方向)

コンピューターにつないだ DV カメラ(デジタルビデオカメラ)で撮影した映像を、IP ネットワークを通してリアルタイムに他のコンピューターで表示できます。



■映像の送受信(双方向)

映像の送受信(片方向)を同時に2台のコンピューターで行うと、双方で映像をリアルタイムにやり 取りできます。テレビ電話システムとして使用できます。



■マルチキャスト通信

1 台のコンピューターにつないだ DV カメラ(デジタルビデオカメラ)で撮影した映像を、IP ネットワークを通して他の複数台のコンピューターで表示できます。(マルチキャスト通信を行う場合はネットワークがマルチキャストに対応している必要があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください)



# 1.2 動作環境

#### ● ソフトウェア

オペレーティングシステム	エディション	備考
	Professional	DirectX9が正常に動作すること
Microsoft Windows XP 日本語版	Home Edition	
Microsoft Windows 2000 日大西屿	Drafagional	DirectX9が正常に動作すること
Nucrosoft windows 2000 口本	Professional	IEEE1394 端子への出力機能はサポート外

#### • ハードウェア

	CPU	インテル Pentium 互換プロセッサー 1GHz 以上		
	メモリー	128MB以上		
	ハードディスク	5MB 以上の空き容量		
コンピューター本体	ディスプレイ	800×600 ピクセル以上、ハイカラー以上表示可 能なディスプレイアダプター※1※2 およびモニター		
	映像入出カデバイス	OHCI 準拠の IEEE1394 インターフェース		
	ネットワークインター フェース	100BASE-TX 以上		
	音声デバイス	Windows 互換のサウンドカード、スピーカー		
その他	DV 端子(IEEE1394)る	を備えた DV カメラ(デジタルビデオカメラ)		

※1 独立した VRAM を持つディスプレイアダプターを推奨

※2メニュー-[受信]-[ウィンドウに表示]-[解像度-低]に設定、あるいはメニュー-[表示]-[画面サイズ]-[フル スクリーン]に設定すると、受信映像が正常に表示されない、またはシステムが停止する現象が以下の環境 で確認されています。

<受信映像/フルスクリーンが正常に表示されない現象が発生する環境>

グラフィックカード(機能):インテル 810/815 チップセット

ドライバー:インテル 810 / 815 チップセットドライバー Ver 6.13.1.3198

OSの画面解像度:1280\*1024以上

このような場合、上記のドライバーをインテル社から提供されているドライバー

「インテル 810 / 815 チップセットドライバー Ver 6.13.1.3196」

に変更すると問題が解決することがあります。

# <u>Chapter 2</u>

インストール/アンインストール

- 2.1 インストールの前に
  - 動作環境の再確認

インストールの前に、1.2動作環境の要件を満たしているかどうかを再度確認してください。

# 2.2 インストール

- ①「コンピュータの管理者」権限を有するユーザー(Windows XP の場合)あるいは「Administrator」権限 を有するユーザー(Windows 2000 の場合)としてログオンしてください。
- ② 次のいずれかの方法で、DirectX をインストールします。
  - Windows Update にアクセスし、「DirectX エンド ユーザー ランタイム」をインストールしてください。
  - CDからインストールを行う場合、「マイコンピュータ」にある CD-ROM ドライブアイコンをダブルク リックし、「DirectX9」フォルダーをダブルクリックして開き、「DXSETUP.exe」をダブルクリックしてく ださい。DirectXのインストールが始まるので、画面の指示に従ってインストールしてください。
- ③ 次のいずれかの方法で、AT-VoN のインストールを開始します。
  - ダウンロード版のファイルを使ってインストールを行う場合、ダウンロードしたファイル(AT-VoN-くx. x. x>. exe のようなファイル名が付いているはずです。<x. x. x> の箇所にはバージョン番号を 表す数字列が入ります)をダブルクリックしてください。
  - CD-ROM からインストールする場合、AT-VoN の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。し ばらくするとインストール用のウィザードが起動します。

Note: ウィザードが起動しない場合は、「マイコンピュータ」にある CD-ROM ドライブアイコ ンをダブルクリックし、「setup.exe」をダブルクリックしてください。





④ ウィザードの起動画面が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックしてインストールを続行します。

⑤ 画面に表示されるソフトウェア使用権許諾契約書の内容をよく確認してください。使用権許諾契約の条項に同意する場合は「使用権許諾契約の条項に同意します(A)」を選択して[次へ(N) >] ボタンをクリックします。

次の使用権許諾契約書を注意深くお読みください。	zlesis
<u>ソフトウェア使用権許諾契約書</u>	
アライドテレシス株式会社(以下「当社」といいます)とお客様は、本契約書とともに 提供するソフトウェア製品に関して以下の通り合意します。	)
<ol> <li>1. 定義</li> <li>本ソフトウエアとは、以下の2つを言います。</li> <li>・ 本プログラム</li> <li>・ 本印刷物</li> <li>本プログラムとは、以下の2つを言います。</li> </ol>	~
●使用権許諾契約の条項に同意します(A) ●使用権許諾契約の条項に同意しません(D)	100
istallShield	11.2

⑥ 購入した AT-VoN のシリアル番号と認証キーを入力します。

1アル番号及	び認証キーを	入力してくださ	1.10	
				Allied leles
_				
( <u>s</u> ):				
は、試用版と	してインストール	します。試用期	間は30日です。	,
し上、お使いに	なる場合は、こ	『購入のシリアル	番号/認証キ	ーをご利用ください。
	€(S): □ ): □ ;(は、試用版と 人上、お使い(2	(S):	ま(S):	ま(S):

⑦ AT-VoN をインストールするフォルダーを指定します。特に必要が無ければ画面に表示されるフォル ダーのままで問題ありません。インストールするフォルダーを変更する場合は、「変更(①…] ボタンを 押してインストールするフォルダーを指定してください。「次へ(N) >」 ボタンで次に進みます。

🙀 AT-VoN - Inst	allShield Wizard	
インストール先のフォ このフォルダにイン 別のフォルダにイ	ォルダ ンストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。 ンストールする場合は、「変更」をクリックします。	Allied Telesis
AT-VoN C¥Progr	N のインストール先: ram Files¥Allied Telesis¥AT-VoN¥	<u>変更(C)</u>
InstallShield	〈 戻る(B) 次へ(N) 〉	

⑧ AT-VoN をインストールする準備ができました。[インストール(1)] ボタンをクリックしてインストール を開始します。

🙀 AT-VoN - InstallShield Wizard	
プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。	Allied Telesis
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。 インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。 セル」をクリックすると、ウィザードを終了します。	。「 <b>キ</b> ャン
InstallShield く戻る(B) インストールの =	キャンセル



⑨ AT-VoN のインストールが完了しました。[完了 (E)] ボタンをクリックするとウィザードを終了します。

Note: 試用版から製品版へ変更する場合は、試用版をアンインストールしてから、ご購入のシリアル番号と認証キーを使って再度インストールを行ってください。

# 2.3 アンインストール

- ① デスクトップの[スタート]メニューをクリックして、[コントロール パネル(<u>C</u>)] をクリックします。
- ② コントロールパネル内の [プログラムの追加と削除] をクリックします。



③ 画面左上の [プログラムの変更と削除(出)] が選択されていることを確認し、現在インストールされているプログラムのリストにある「AT-VoN」をクリックします。[削除] ボタンが表示されるのでクリックします。

🐻 プログラムの通	自力と削除		
	現在インストールされているプログラム: 🔲 更新プログラムの表示(型)	並べ替え( <u>S</u> ): [:	名前 💌
プログラムの 変更と削除(H)	🖨 AT-VoN	サイズ	<u>3.33MB</u>
	サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。	使用頻度	直
		最終使用日	2005/03/23
プログラムの jgtn(N)	コンピュータからこのプログラムを削り除するには、開り除1をクリックしてください。		削除

④ 確認のダイアログが表示されます。[はい(Y)] ボタンをクリックします。



⑤ しばらくすると AT-VoN のプログラムが削除され、アンインストールが完了します。[完了 (E)] ボタン をクリックするとウィザードを終了します。

🙀 AT-VoN - InstallShiel	d Wizard 🛛 🛛
	InstallShield ウィザードを完了しました
	InstallShield ウィザードは、AT-VoN を正常にアンインストー ルしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してくださ い。
Alled Telesis	
	< 戻る(B) <b>完了(E)</b> キャンセル

# <u>Chapter 3</u>

AT-VoNを使う

# 3.1 機器の接続



- 必要な機器
  - ■コンピューター(2台)

送信用、受信用

- DV カメラ
- ネットワークケーブル(カテゴリー 5 以上の UTP ケーブル)
   IP ネットワークにコンピューターを接続します。
- IEEE1394 ケーブル

DV カメラとコンピューターを接続します。IEEE1394 端子には、4 ピンタイプのものと6 ピンタイプの ものがあります。DV カメラ側のコネクター形状とコンピューター側のコネクター形状を確認して、適 合するケーブルを用意してください。

# 3.2 AT-VoN を起動する

デスクトップの 💬 アイコンをダブルクリックして AT-VoN を起動します。 AT-VoN が起動するとメイン ウィンドウが表示されます。



# 3.3 映像を送信する

ここでは、ウィンドウ上部の送信ツールバーを使って送信する方法を説明します。

🧯 送信: 渊 📄 死先	Eアドレス 192.168.0.10	~	宛先ポート 8000	~	
--------------	--------------------	---	------------	---	--

#### 3.3.1 DV カメラの設定

DV カメラを被写体に向けてセットし、撮影モードにします。このとき録画用のテープは必要ありません。(撮影モードにする方法についてはお使いの DV カメラのマニュアルを参照してください)

#### 3.3.2 宛先アドレスの指定

送信ツールバーの「宛先アドレス」欄に映像を送りたいコンピューターのホスト名または IP アドレスを入力します。

<ul> <li>Note: IP アドレスの確認方法 <ol> <li>タスクバーの[スタート]メニューをクリックし、[すべてのプログラム(P)]をクリックます。</li> <li>アクセサリ]をクリックし、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトプロンプト]をクリックします。</li> <li>コマンドプロンプト ウィンドウに ipconfig と入力してキーボードの [Enter]キー押します。</li> </ol> </li> <li>IP Address 欄にそのコンピューターの IP アドレスが表示されます。 <ol> <li>ipconfig を入力して(Enter]キーを押す</li> </ol> </li> <li>Ipconfig を入力して[Enter]キーを打け、</li> <li>Ipconfig を入力して(Enter]キーを打ちます。</li> </ul>	2//JC&9°	宛先アドレス 192.168.0.10 🗸		
<ul> <li>         ・ロメ         ・ロメ         ・ロメ         ・ロメ         ・ロメ         ・ロメ         ・ロット コンナト         ・ロメ         ・ロット         ・ロット</li></ul>	Note: IP アドレスの確認7 1. タスクバーの [スタート ます。 2. [アクセサリ]をクリック ウィンドウが開きます。 3. コマンド プロンプト ウ 押します。 4. IP Address 欄にその=	<b>5法</b> ・] メニューをクリックし、[ すべて フし、[ コマンドプロンプト ] をクリ・ , ィンドウに ipconfig と入力して コンピューターの IP アドレスが表	のプログラ ックします。 こキーボー 示されます	ラム (₽)] をクリックし 。 <b>コマンド プロンプト</b> ・ドの [Enter] キーを ト.
Ethernet adapter ローカル エリア接続: Connection-specific DNS Suffix .: IP Address: 192.168.0.10 Subject Mask : 255 255 0	ब उर्छ रिट्र रिट्र C:¥)ipconfis Windows IP Configuratio	m	- • ×	3. <b>ipconf ig</b> を入力 して[Enter]キーを 押す
Default Gateway	Ethernet adapter □ - カ Connection-spec IP Address Subnet Mask Default Gateway	ル エリア接続: ific DNS Suffix . : 	10 5.0 254	4. この部分がその コンピュータの - IPアドレス くこの画面では、 192.168.0.10)

• 14

## 3.3.3 送信の開始

•

送信ツールバーの 🔎 アイコンをクリックしてください。映像の送信が開始されます。

## 3.4 映像を受信する

ここではウィンドウ上部の受信ツールバーを使って受信する方法を説明します。



#### 3.4.1 受信の開始

受信ツールバーの 🗹 アイコンをクリックしてください。映像の受信が開始され、送信元のコン ピューターに接続した DV カメラからの映像が、ウィンドウに表示されます。

#### 3.5 マルチキャスト機能を使用する

マルチキャスト機能を使用すると、1 台の DV カメラから複数のコンピューターに同時に映像を送ること ができます。マルチキャストに参加するコンピューターは、ひとつのマルチキャストアドレスを介して映像 の送受信を行います。

マルチキャスト通信を行うためには、ネットワークがマルチキャストに対応していることが必要です。お使いのネットワークがマルチキャストに対応しているかどうかネットワーク管理者に確認してください。

#### 3.5.1 マルチキャストアドレスを決定する

マルチキャストに参加するコンピューターが使う IP アドレスを決めます。使用可能なアドレスはネットワーク管理者に問い合わせてください。

#### 3.5.2 マルチキャストで送信する

DV カメラの設定

DVカメラを被写体に向けてセットし、撮影モードにします。このとき録画用のテープは必要ありません。(撮影モードにする方法についてはお使いの DV カメラのマニュアルを参照してください)

② 宛先アドレスの指定

送信ツールバーの「宛先アドレス」欄にマルチキャストアドレスを入力します。

宛先アドレス 224.15.15.12 🛛 🗸

③ 送信の開始

送信ツールバーの 🌽 アイコンをクリックしてください。映像のマルチキャスト送信が開始されます。

#### 3.5.3 マルチキャストで受信する

① マルチキャストアドレスの指定

受信ツールバーの「マルチキャストアドレス」の左のチェックボックスをクリックし、右のフィールド にマルチキャストアドレスを入力します。

マルチキャストアドレス 224.15.15.12

② 受信の開始

受信ツールバーの 🕜 アイコンをクリックしてください。映像の受信が開始され、送信元のコン ピューターに接続した DV カメラからの映像が、ウィンドウに表示されます。

# 3.6 受信映像を外部機器で表示する(Windows XP のみ)

AT-VoNは、受信側コンピューターで受信した映像を IEEE1394 端子に出力する機能を持っています。 この機能を使うと、出力された映像を DV 入力端子のある外部機器で受け取ることができます。

ここでは受信映像をアナログーDVコンバーター経由で外部モニター(アナログ入力端子付TV)等に表示させる方法を例として説明します。



3.6.1 必要な機器

受信用コンピューターの IEEE1394 端子から出力された映像を外部モニターに表示する場合、3.1 に記載した機器のほかに次のような機器が必要となります。

● 外部モニター

アナログ入力端子の付いた TV 等、ビデオ画像をディスプレイに表示する装置です。

● アナログーDV コンバーター

DVの映像とビデオ出力(アナログ)を変換する装置です。

アナログケーブル(外部モニターを使用する場合)
 アナログーDV コンバーターと外部モニターを接続するのに使用します。

#### 3.6.2 外部機器の接続

- ① コンピューターとアナログ DV コンバーターを IEEE1394 ケーブルで接続します。
- ② アナログ-DVコンバーターと外部モニターをアナログケーブルで接続します。
- ③ アナログ-DV コンバーターおよび外部モニターの電源を入れ、モニターを外部入力モードにします。(アナログ-DV コンバーターおよび外部モニターの設定方法についてはお使いの機器のマニュアルを参照してください)
- 3.6.3 受信モードの設定

[受信(R)]メニューの[IEEE1394に出力する(1)]をクリックしてチェックを付けます。

# 3.6.4 受信の開始

3.4 および 3.5 を参考に映像の受信を開始します。受信用コンピューターの IEEE1394 端子から出 力された映像が、アナログーDV コンバーター経由で外部モニターに表示されます。

# <u>Chapter 4</u>

# アプリケーション各部の説明

- 4.1 ツールバー
  - 4.1.1 送信ツールバー

送信に関する操作を行います。

● 🔀 送信開始

現在の設定で映像の送信を開始します。

- 送信停止
   映像の送信を停止します。
- 宛先アドレス 192.168.0.10 ✓ 宛先アドレス

映像を送信する相手側コンピューターのホスト名または IP アドレスを指定します。

- 宛先ポート 8000 ▼ 宛先ポート
   映像を送信する相手側コンピューターのポート番号を指定します。
- ● 送信プロパティ
   送信プロパティダイアログを開きます。(⇒4.3.1)
   送信中はプロパティの変更はできません。(確認のみ)
- 4.1.2 受信ツールバー

受信に関する操作を行います。

受信: 🖉 📃 🞯 受信ポート 8000	< ロマルチキャストアドレス	
----------------------	----------------	--

- 受信開始
   現在の設定で映像の受信を開始します。
- ● 受信停止
   ● 受信停止
   ● 受信停止

受信再起動
 映像の受信を1度停止した後、再度受信を開始します。

- 受信ポート 8000 ▼ 受信ポート
   映像を受信するポート番号を指定します。
- マルチキャストアドレス 22415.15.12
   マルチキャストアドレス
   マルチキャストに参加する場合はチェックボックスにチェックを付け、参加するマルチキャストア
- ● 受信プロパティ
   受信プロパティダイアログを開きます。(⇒4.3.3)
   受信中はプロパティの変更はできません。(確認のみ)

#### 4.1.3 基本ツールバー

ドレスを指定します。

設定ファイルの読み込みや保存、ヘルプの表示などを行います。



- ・ 設定読込
   AT-VoN の送受信設定を設定ファイルから読み込みます。
- 🖬 設定保存

現在の送受信設定を設定ファイルに保存します。

ペルプ
 ヘルプを表示します。

## 4.2 メニュー

### 4.2.1 [ファイル(E)] メニュー

● 設定読込(0)

設定ファイルから設定を読み込みます。[設定読込(0)]をクリックすると、ファイル選択ダイアロ グが表示されます。設定ファイルを選択して [開く] ボタンをクリックしてください。

🖨 AT-VoN			
ファイル(E) 送信(S) 受信(E	3) 表示(⊻) ヘルブ(4	<u>H)</u>	
設定読込(2)	12		✓ ▶
設定1米仔ら) アプリケーションの終了⊗	信ポート 8000 💌	□マルチキャストアドレス	
i 🖻 🖬 💡	-		

#### ● 設定保存(<u>S</u>)

AT-VoN の設定を設定ファイルに保存します。送信の設定、受信の設定、ウィンドウの設定をひとつの設定ファイルに保存できます。

⊖ AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S) 受信	(B) 表示(V) ヘルプ(H)	
設定読込(2)	レス 💉 宛先ポート 8000 💌 💽	
取定1米14回/ アプリケーションの終了(2)	信ポート 8000 💉 🗌 マルチキャストアドレス	No. 10
🖻 🖬 💡	-1	

保存ファイル名: config.von		参照( <u>R</u> )
	受信設定	ウィンドウ設定
]設定保存(A)	✓ 設定保存(B)	☑ 設定保存(⊆)
]ファイル読込時に送信自動開始(※)	□ファイル読込時に受信自動開始(Y)	
宛先アドレス: 192.168.0.10 夏先IPバージョン: 4 宛先ボート番号: 8000 フレームレート: 30 1パケットで送信するブロック数: 17 マルチキャストTTL: 64 プレビュー画面: 表示しない	IPパージョン: 4 受信ボート番号: 8000 マルチキャストで受信: いいえ ウィンドウに表示: 解像度-中 IEEE1394に出力: いいえ	基本ツールバーの表示: はい 送信ツールバーの表示: はい 受信ツールバーの表示: はい ステータスバーの表示: はい フルスクリーン表示: いいえ 常に最前面に表示: いいえ
c >>	< >	< >

[設定保存(S)]をクリックすると、設定ファイルの保存ダイアログが表示されます。

■ 設定保存(A)、設定保存(B)、設定保存(C)

保存する設定を選択できます。

「設定保存(A)」にチェックを付けると「送信設定」が、「設定保存(B)」にチェックを付けると「受信設定」が、「設定保存(C)」にチェックを付けると「ウィンドウ設定」が保存の対象になります。

[保存(S)] ボタンをクリックすると、チェックを付けた設定が指定したファイルに保存されます。

■ファイル読込時に送信自動開始(X)
 ファイルを読み込んだ時に、自動的に送信を開始します。
 ■ファイル読込時に受信自動開始(Y)

ファイルを読み込んだ時に、自動的に受信を開始します。

● アプリケーションの終了(X)

AT-VoN を終了しウィンドウを閉じます。

終了した時点の設定は次回起動時まで保持されます。

AT-VoN を終了させるには、[アプリケーションの終了(X)]をクリックしてください。

🖨 AT-VoN	
ファイル(E) 送信(S) 受	信(B) 表示(V) ヘルプ(H)
設定読込(0)	レス 宛先ポート 8000 💽 💽
設定(保存( <u>S</u> ) アプリケーションの終了( <u>X</u>	信ボート 8000 💌 🗌 マルチキャストアドレス 🛛 🖉 🕎
🖻 🖬 🤋	

# 4.2.2 [送信 (<u>S</u>)] メニュー

● 送信開始(<u>S</u>)

映像の送信を開始します。

🖨 AT-Vo	N		
ファイル(E)	送信(S)受信(R)表	示心 ヘルプ(出)	
🧯 送信: 🍃	送信開始(S)	💉 宛先术ート 8000 💌 🛐	
: 受信: 🗹	12111191日位/	ト 8000 👽 🗌 マルチキャストアドレス	- B
i ce D	プレビュー画面(⊻) 🕨		
	プロパティ( <u>P</u> )		

宛先アドレス( <u>D</u> ):	
優先IPバージョン(I) ● IPv4 ● IPv6	マルチキャスト設定(
宛先ボート番号(P) ③ DVTS (8000) 〇 カスタム: 8000 🔍	初期値に戻す(R) ヘルプ(H)
通信品質 フレームレート(fps)(E): 1パケットで送信するブロック数	30 💌 t (B): 17 📚

[送信開始(S)]をクリックすると、送信ダイアログが開きます。(⇒4.3.1)

#### ■ 送信項目の設定

送信ダイアログでは次の項目が設定できます。

宛先アドレス(D)

映像の送信先コンピューターのホスト名または IP アドレスを指定します。

・ 優先 IP バージョン(1)

「宛先アドレス(D)」に入力されたホスト名から IP アドレスを調べる場合に、優先的に調べる IP のバージョンを、IPv4/IPv6 から選択できます。(OS が IPv6 に対応していない場合は 選択できません)

- 宛先ポート番号(P)
   映像の送信先コンピューターのポート番号を指定します。
- 通信品質
- 通信の品質を設定します。

   マルチキャスト設定(M)
   マルチキャスト送信設定ダイアログを開き、マルチキャスト送信を行う場合の設定を行います。(⇒4.3.2)

設定した値を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す(R)]ボタンをクリックします。

■ 送信の開始

[開始(S)] ボタンをクリックすると、映像の送信を開始します。



● 送信停止(<u>S</u>)

映像の送信を停止します。

[送信停止(S)]をクリックすると、それまで行っていた映像の送信を停止します。

🖨 AT-Vo	N		
771N(E)	送信(S) 受信(R)	表示(⊻) ヘルプ(出)	
: 送信: 🍃	送信開始(S)	92.168.0.10 🔽 宛先术-ト 8000 🔽 💽	
: 受信: 〆	· 전기 등 1 등 1 등 1 년 /	ト 8000 🔻 🗌 マルチキャストアドレス	- F
1 C2 D	プレビュー画面◯◯	•	
	プロパティ( <u>P</u> )		

● プレビュー画面(⊻)

送信中の映像を表示する画面(プレビュー画面)の表示/非表示を選択します。

■ プレビュー画面を表示しない場合

プレビュー画面を表示させない場合は、[表示しない(N)]にチェックを付けます。

🖨 AT-Vo	N		
ファイル(E)	送信(S) 受信(E	) 表示(⊻) ヘルプ(出)	
;送信: 🏹	送信開始( <u>S</u> )	💉 宛先ボート 8000 💉 💽	
; 受信: 🗹	20161916(2)	<u>ト 8000 マ ロマルチキャストアドレス</u>	
C C C	ブレビュー画面(	0 ▶ • 表示しない(N)	
	プロパティ( <u>P</u> )		-
		解像度 - 低(L)	

■ プレビュー画面を表示する場合

プレビュー画面の解像度を次の3つから選択できます。

 ・
 [解像度一高(H)]

高い解像度でプレビュー画面を表示します。

🗢 AT-Vo	N		
ファイル(E)	送信(S) 受信(R)	表示(⊻) ヘルプ(∐)	
送信: 🍃	送信開始( <u>S</u> )	- 宛先ポート 8000 📝 💽	i e
受信: 🖌	3천11191E(S)	- ト 8000 🗸 🗖 マルチキャストアドレス	
i na D	プレビュー画面──	▶ 表示しない(№)	
	プロパティ( <u>P</u> )	- ↓ 解像度 - 高( <u>H</u> ) 解像度 - 中(M)	
		解像度 - 低①	

• [解像度一中(<u>M</u>)]

中程度の解像度でプレビュー画面を表示します。

AT-Vo	N		
ファイル(E)	送信(S) 受信(R)	表示(V) ヘルプ(H)	
送信: 🍃	送信開始(S)	💉 宛先ポート 8000 💌 🛽	5
受信: 🗹	3천18191E(S)	- k 8000 V ロマルチキャストアドレス	
	ブレビュー画面(型)	表示しない(N) 認得度 支(I)	
	プロパティ( <u>P</u> )	解像度 - 向(U) , 解像度 - 中(M)	
2		解像度 - 低①	

• [解像度-低(L)]

低い解像度でプレビュー画面を表示します。

🖨 AT-Vo	N		
ファイル(E)	送信(S) 受信(R)	表示(⊻) ヘルプ(出)	
;送信: 🍃	送信開始(S)	◎ 宛先ボート 8000 💌 💽	2
🕴 受信: 🗹	3천리우止(2)	- k 8000 V ロマルチキャストアドレス	
	ブレビュー画面(型)	表示しない(N) 認備度 支(1)	
	プロパティ( <u>P</u> )	■ 解像度 - 向① ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
		✓ 解像度 ─ 低(L)	

解像度が高いほど鮮明なプレビュー画像を表示できますが、コンピューターのパフォーマンス によっては処理が間に合わずにプレビュー画像が正常に表示できなくなる場合があります。 そのような場合にはプレビュー画面の解像度を低くするか、プレビュー画面を非表示にしてく ださい。

● プロパティ(P) (送信)

送信に関するプロパティを設定します。

🖨 AT-Vo	N		
ファイル(E)	送信(S) 受信(R)	表示(⊻) ヘルプ(出)	
;送信: 🍃	送信開始( <u>S</u> ) 送信(点上(c))	💉 宛先ポート 8000 💌 💽	
受信: 🗹		- · ト 8000 💉 🗌 マルチキャストアドレス	
: 🚔 🔲	ブレビュー画面(型)		
	プロパティ( <u>P</u> )		

[プロパティ(P)...]をクリックすると、送信プロパティダイアログが開きます。(⇒4.3.1) これは、送信ツールバーの[送信プロパティ]ボタンで表示されるダイアログと同じものです。

送信プロパティ	
宛先アドレス(D):	~
優先IPバージョン(I) ● IPv4 ● IPv6	マルチキャスト設定(M)
宛先ポート番号(P) ③ DVTS (8000) 〇 カスタム: 8000  ▼	初期値に戻す(R) ヘルプ(H)
通信品質 フレームレート(fps)(E): 1パケットで送信するブロック数	30 💙 ((B): 17 🗘
ОК	キャンセル

送信プロパティダイアログでは次の項目が設定できます。[OK] ボタンをクリックすると、設定が システムに反映されます。

■ 宛先アドレス(D)

映像の送信先コンピューターのホスト名または IP アドレスを指定します。

■優先 IP バージョン(1)

「宛先アドレス(D)」に入力されたホスト名から IP アドレスを調べる場合に優先的に調べる IP のバージョンを IPv4/IPv6 から選択できます。(OS が IPv6 に対応していない場合は選択できません)

- 宛先ポート番号(P)
  映像の送信先コンピューターのポート番号を指定します。
- ■通信品質 通信の品質を設定します。
- ■マルチキャスト設定(M)
   マルチキャスト送信設定ダイアログを開き、マルチキャスト送信を行う場合の設定を行います。
   (⇒4.3.2)

設定した値を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す(R)]ボタンをクリックします。

送信プロパティダイアログの各項目についての詳しい説明は「4.3.1 送信プロパティダイアログ」 を参照してください。

Note: 送信中は送信プロパティの変更はできません。

### 4.2.3 [受信(R)] メニュー

● 受信開始(<u>S</u>)

映像の受信を開始します。

⊖ AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S)	受信(R) 表示(V) ヘルブ(H)	
送信: 渊 📄 : 受信: 🖌 🔲 🖇 : 🚅 🔒 🎖	受信開始(2). 受信(存止(2) ウィンドウに表示(W) ↓ IEEE1394(に出力(1))	
	プロパティ( <u>P</u> )	

ッパージョン(I) ● IPv4 ● IPv6	受信ポート番号(P) ① DVT5 (8000) ① カスタム: 8000		初期値に戻す
パルチキャスト コマルチキャスト	で受信(M)		
参加マルチキ	やストアドレス(金):		×
一受信する	インターフェースを指定する	3( <u>⊂</u> )	
<ul> <li>受信する</li> <li>IPアドレス</li> <li>192.168.0.</li> </ul>	インターフェースを指定す? 名前 10 ローカル エリン	る(⊆) デバー ア接続 Intel(	(入名 R) 82559 F

[受信開始(S)] ボタンをクリックすると、受信ダイアログが開きます。(⇒4.3.3)

#### ■ 受信項目の設定

受信ダイアログでは次の項目が設定できます。

- IP バージョン(1)
   IP のバージョンを IPv4/IPv6 から選択できます。(OS が IPv6 に対応していない場合は選択できません)
- ・ 受信ポート番号 (P)
   映像を受信するポート番号を指定します。
- マルチキャスト
   マルチキャスト受信に関する設定を行います。

設定した値を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す(R)]ボタンをクリックします。

### ■ 受信の開始

[開始(S)] ボタンをクリックすると映像の受信を開始します。

Note: [受信 (R)] メニューで [I] 合、コンピューターに DV 機: れます。コンピューターに DV	EEE1394に出力(1)]にチェックを付けている場 器が接続されていないとエラーメッセージが表示さ V 機器が正しく接続されているか確認してください。
AT-VoN	区 DV機器が接続されていません。
	ОК

Note: [受信 (R)] メニューで [IEEE1394 に出力 (1)] にチェックを付けている場合、コンピューターに DV 機器が複数接続されていると [出力先 DV 機器選択] ダイアログが表示されます。使用する DV 機器を選択して、[OK] ボタンをクリッ クしてください。

種類	名前	
VCR VCR	AVC Compliant DV Device JVC DV デバイス	

● 受信停止(<u>S</u>)

映像の受信を停止します。

[受信停止(S)]をクリックすると、それまで行っていた映像の受信を停止します。

🖨 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S)	受信(12) 表示(2) ヘルブ(11)	
送信: 风 📄 🗄	受信開始(S)	
	ウィンドウに表示(W) → IEEE1394に出力Φ	
	プロパティ( <u>P</u> )	

ウィンドウに表示(<u>W</u>)

受信した映像をAT-VoNのウィンドウに表示するか、非表示にするかを選択します。 受信映像をウィンドウに表示する場合は、解像度を次の3つから選択できます。

■[解像度一高(出)]

高い解像度で映像を表示します。[表示]メニューの画面サイズを [640×480(出)] に設定す る場合に適しています。

🖨 AT-VoN			
ファイル(E) 送信(S)	受信(R) 表示(V) ^	(ルブ田)	
;送信: 🔲 📄	受信開始(S)	- 宛先ポート 8000 💌 💽	
;受信: 🖌 🔲 🗯		マルチキャストアドレス	
	ワインドワに表示(型)	▶ 表示しない(N) 級(免疫 = 主(1))	
		✓ 解除度 一中(M)	
	プロパティ( <u>P</u> )	解像度 一 低①	

■[解像度一中(M)]

中程度の解像度で映像を表示します。[表示]メニューの画面サイズを [320×240(M)] に設定する場合に適しています。

受信(R) 表示(V) /	(ルプ(日)	
受信開始(S)	💽 宛先ポート 8000 💌 💽	S.
XIBIPLO/		× 🖪
ウィンドウに表示( <u>W</u> ) IEEE1394に出力の	▶ 表示しない(N) 解像度 - 高(H)	
プロパティ( <u>P</u> )	✓解像度 - 中(M) 解像度 - 低(L)	
	受信(P)     表示(V)     /       受信開始(S)     受信停止(S)       ウィンドウに表示(W)       IEEE1394(こ出力(P)	受信(P)       表示(V)       ヘルブ(H)         受信開始(S)       愛信(存止(S)       ✓       宛先ポート       8000       ✓       配         受信(存止(S)       ✓       ワルチキャストアドレス

■ [低解像度-低(L)]

低解像度で映像を表示します。高解像度、中解像度では映像がうまく表示されない場合に使用します。

🗢 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S)	受信(B) 表示(V) ヘルプ(H)	
送信: 属 📄 🗄	受信開始(S) 宛先术-ト 8000	✓ ▶
) 受信: 🖌 🔲 👔	○ □ マルチキャストアドレス	× B
6 8 8	ウィンドウに表示(W) → 表示しない(N) IEEE1394に出力(P) 解像度 - 高(H)	
	プロパティ(P) 解像度 - 中(M) マ解像度 - 低①	

解像度が高いほど鮮明な画像を表示できますが、コンピューターのパフォーマンスによっては 処理が間に合わず、映像が正常に表示できない場合があります。そのような場合には解像度 を低くしてください。

■[表示しない(N)]

IEEE1394 端子に映像を出力する場合に、コンピューターの画面に映像を表示する必要が無ければ、[表示しない(№)]を選択してください。

Note: [IEEE1394 に出力(1)] にチェックが付いていない場合は選択できません。

AT-VoN			
ファイル(E) 送信(S)	受信(R) 表示(V) ^	ルプ(出)	
🧯 送信: 🐊 📄 🗄	受信開始(S)	🛛 🔽 宛先ポート 8000 🔽 💽	
受信: 🕜 🔲 🗯	(XIEIPLE)	マルチキャストアドレス	
	ウィンドウに表示(W)	▶ - 表示しない(N)	
	✓ IEEE1394(2出力型	解像度 - 高(日)	
	プロパティ( <u>P</u> )		

● IEEE1394 に出力(⊥)

受信した映像を IEEE1394 端子に出力します。[IEEE1394 に出力(1)] にチェックを付けると、コンピューターの IEEE1394 端子に接続した機器に映像を送ることができます。

Note:[ウィン できませ	ィドウに表示 (₩)] で [表示しない (№)] を選択してい ん。	いる場合は解除
ノア1ルビノ とほし) 送信: 💭 📄 ジ ! 受信: 📿 📄 🖇	<	
	プロパティ( <u>P)</u>	

● プロパティ(<u>P</u>) (受信)

受信に関するプロパティを設定します。

🖨 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S)	受信(B) 表示(V) ヘルプ(H)	
〕送信:	受信開始(S)     受信停止(S)       受信停止(S)     ✓       ウィンドウに表示(W)     ↓       IEEE1394(こ出力(P)	
	プロパティ( <u>P</u> )	

[プロパティ(P)…] ボタンをクリックすると、受信プロパティダイアログが開きます。(⇒4.3.3) これは、受信ツールバーの[受信プロパティ]ボタンで表示されるダイアログと同じものです。

受信力	クロパティ		
IP/	ージョン([) )[Pv4] ) IPv6	受信ポート番号(P) O DVTS (8000) 〇カスタム: 8000	初期値に戻す(R) ヘルプ(H)
الات []	<del>チキャスト</del> マルチキャストで 参加マルチキャ	受信(M) ストアドレス( <u>A</u> ):	<b></b>
	IPアドレス		デバイス名
	192.168.0.10	) ローカルエリア接続 MS TCP Loopbac	MS TCP Loopbac
	(	OK +++	

受信プロパティダイアログでは、次の項目が設定できます。 [0K] ボタンをクリックすると、設定がシステムに反映されます。

■ IP バージョン (<u>|</u>)

IP のバージョンを IPv4/IPv6 から選択できます。(OS が IPv6 に対応していない場合は選択 できません)

- 受信ポート番号 (P) 映像を受信するポート番号を指定します。
- マルチキャスト

マルチキャスト受信に関する設定を行います。

設定した値を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す(R)] ボタンをクリックします。 受信プロパティダイアログの各項目についての詳しい説明は「4.3.3 受信プロパティダイアログ」 を参照してください。

Note: 受信中は受信プロパティの変更はできません。

- 4.2.4 [表示(V)] メニュー
  - ツールバー (<u>⊺</u>)

ツールバーの表示を切り替えます。ツールバーには、基本ツールバー、送信ツールバー、受信 ツールバーの3種類があります。表示するツールバーにチェックを付けてください。

🖨 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S) 受信(R)	表示(2) ヘルプ(日)	
<ul> <li>送信: 🚚 📄 宛先アドレス</li> <li>受信: 🖉 📄 🞯 受信</li> </ul>	ッールバー(T) マステータス バー(S)	▶ <u>- 基本(B)</u> • 送信(S) • 受信(R)
🚅 🖬 🤋	画面サイス(W) ウィンドウの縦横比を4:3に固定(E) 常に最前面に表示(M)	

● ステータスバー (<u>S</u>)

ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

ステータスバーを表示するには、[ステータスバー(S)]をクリックしてチェックを付けた状態にしてください。

🖨 AT-VoN				
ファイル(E) 送信(S) 受信(R)	表示⊙	ヘルプ(円)		
送信: 🛛 📄 宛先アドレス	<mark>ツール</mark> /   • ステータ	(一① (スパー⑤)	• 0	
∑15; K   Ø ∑15   ∲ <b>                                  </b>	画面サ ウィンド 常に最	イズ(W) ウの縦横比を4:3に固定(E) 前面に表示(M)	•	

ステータスバーの左側には、AT-VoNの簡易ヘルプが表示されます。またステータスバーの右側には、映像受信時の状態がインジケーターやアラートアイコンで表示されます。

ヘルプを表示するには F1 キーを押してください。	
---------------------------	--

■ \_\_\_\_\_\_ パケットロス率インジケーター

映像受信時に受信開始からのパケットロス率を示します。目盛が大きい程パケットロスが多いことを示します。インジケーターをマウスでポイントするとパケットロス率が数値で表示され ます。

🔳 🔣 アラートアイコン

映像受信時にパケットロスが発生すると表示されます。

● 画面サイズ (₩)

受け取った映像を表示する画面の大きさを変更します。 画面サイズは次の3つから選択できます。 ■ フルスクリーン(<u>F</u>)

映像を全画面表示します。[Alt]+[Enter] キーで、全画面表示とウィンドウ表示の切り替え ができます。[ESC] キーを押すとウィンドウ表示に戻ります。

🖨 AT-VoN				
ファイル(E) 送信( <u>S</u> ) 受信( <u>R</u> )	表示⊙	ヘルプ(円)		
送信: □ 宛先アドレス 受信: □ ② ● ③ 受信	ツール/ ↓ ステータ	「一① !ス バー( <u>S</u> )		
	画面サ ウィンド 常に最	イズ(型) ウの縦横比を4:3に固定(E) 前面に表示( <u>M</u> )	→ フルスクリーン(E) Al: 640 × 480 (H) 320 × 240 (M)	t+Enter

■ [640 × 480 (<u>H</u>)]

映像を横 640 ドット、縦 480 ドットのサイズで表示します。[受信 (R)] メニューの[ウィンドウに 表示 (W)] で解像度を [解像度 – 高 (出)] に設定した場合に適しています。

🖨 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S) 受信(B)	表示(2) ヘルプ(出)	
送信: 属 📄 宛先アドレ	ツールバー(T) コニーカコ バー(S)	• D 💌 🖪
) Edi: 🖉 🔲 🞯 Edi		
i ⊯ <b></b> ?	■面サイス\W/ ウィンドウの縦横比を4:3に固定(E) 常に最前面に表示(M)	640 × 480 ( <u>H</u> ) 320 × 240 ( <u>M</u> )

■ [320 × 240 (M)]

映像を横 320 ドット、縦 240 ドットのサイズで表示します。[受信 (R)] メニューの [ウィンドウに 表示 (W)] で解像度を [解像度-中(M)] に設定した場合に適しています。

🖨 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S) 受信(B)	表示 ♡ ヘルプ(出)	
: 送信: 📕 📄 宛先アドレス	ツールバー(① → ステータス バー( <u>©</u> )	
	画面サイズ(W) ウィンドウの縦横比を4:3に固定(F) 常に最前面に表示(M)	<ul> <li>フルスクリーン(E) Alt+Enter</li> <li>640 × 480 (H)</li> <li>320 × 240 (M)</li> </ul>

● ウィンドウの縦横比を4:3に固定(E)

ウィンドウのサイズを変更する場合に、縦と横の長さの比を固定します。[ウィンドウの縦横比を 4:3に固定(F)] にチェックを付けるとウィンドウの「横の長さ」対「縦の長さ」が 4:3 の比にな ります。

🖨 AT-VoN		
ファイル(E) 送信(S) 受信(B)	表示── ヘルプ(田)	
送信: 🐊 📄 宛先アドレス	ツールバー(① ▼ ステータス バー(S)	
	画面サイズ(₩) ◇ ウィンドウの縦横比を4:3に固定(E) 常に最前面に表示(M)	

● 常に最前面に表示(M)

AT-VoN のウィンドウを常にデスクトップの最前面に表示します。

[常に最前面に表示(M)] にチェックを付けると、AT-VoN のウィンドウがデスクトップの他のウィンドウよりも常に前面に表示されます。

🖨 AT-VoN			
ファイル(E) 送信(S) 受信(R)	表示⊙	ヘルプ(田)	
送信: 📜 📄 宛先アドレス	ツール/ ・ ステータ	「一① 1ス バー⑤	
	画面サ ウィンド - 常に最	イズ(W) ウの縦横比を4:3に固定(E) 前面に表示(M)	

# 4.2.5 [ヘルプ(<u>H</u>)] メニュー

● トピックの検索(出)

AT-VoN の使用方法を表示します。

[トピックの検索(出)]をクリックすると、AT-VoNの使用方法を表示します。

⊖ AT-VoN			
ファイル(E) 送信(S) 受信(B) 表示(V)	ヘルプ(出)		
🤃 送信: 渊 📄 宛先アドレス	トピックの検索(日)	8000 💌 🖪	
) 受信: 🖉 📃 🞯 受信术-ト 800	バージョン情報( <u>A</u> )	アドレス	
🖆 🖬 💡			

● バージョン情報(<u>A</u>)

AT-VoN のバージョン情報を表示します。

[バージョン情報(A)...]をクリックすると、現在お使いの AT-VoN のバージョン情報を表示します。(⇒4.3.4)

🗢 AT-VoN			
ファイル(E) 送信(S) 受信(R) 表示(V)	ヘルプ(出)		
🕴 送信: 渊 📄 宛先アドレス	トピックの検索(日)	8000 💉 🖪	
: 受信: 🖉 🔲 🞯 受信术-ト 800	バージョン情報( <u>A</u> )	アドレス	<ul> <li>E</li> </ul>
🖙 🖬 💡			

# 4.3 ダイアログ

### 4.3.1 送信プロパティダイアログ

送信プロパティダイアログでは、宛先アドレス、宛先ポート番号、通信品質を設定できます。

送信プロパティ	
宛先アドレス(D):	~
優先IPバージョン(I) ● IPv4 ● IPv6	マルチキャスト設定(M)
宛先ボート番号(P) のDVTS (8000) のカスタム: 8000	初期値に戻す(R) ヘルプ(H)
通信品質 フレームレート(fps)(E): 1パケットで送信するブロック数	30 V (B): 17 C
ОК	キャンセル

- 宛先アドレス (D)
   映像の送信先コンピューターのホスト名または IP アドレスを指定します。
- 優先 IP バージョン(1)

「宛先アドレス(D)」に入力されたホスト名から IP アドレスを調べる場合に、優先的に調べる IP のバージョンを、IPv4/IPv6 から選択できます。(OS が IPv6 に対応していない場合は選択できません)

- [IPv4] 従来使われてきた IP のバージョンです。アドレスを 32 ビットで表現します。
- [IPv6] アドレス空間の増大やセキュリティーなどを考慮して IPv4を改良したプロトコルです。
- 宛先ポート番号(P)

映像を送信する相手側コンピューターのポート番号を指定します。デフォルトは8000番です。 8000番以外のポートを使う場合は、[カスタム]を選択してポート番号を入力します。

● 通信品質

通信の品質を設定します。フレームレート、1パケットで送信するブロック数が設定できます。

■ フレームレート(<u>F</u>)

1秒間に送信するフレームの数を指定します。デフォルトは30です。

値が大きいほど滑らかな映像になりますが、送信するデータ量は大きくなります。送信するデー タ量がネットワークやコンピューターのパフォーマンスを超えるとパケットロスが発生するため 描画時にブロックノイズが生じます。その場合は値を小さくしてください。 ■1パケットで送信するブロック数(B)

1パケットで送信するブロック数を指定します。デフォルトは17です。

1パケットあたりのブロック数を増やすと一度に多くのデータを送れますが、ネットワークの状態が悪いところでは受信が途切れる場合があります。

1パケットあたりのブロック数を減らすとネットワークの状態による影響を受けにくくなりますが、 データ転送の効率が落ちます。

ネットワークの状態に合わせてブロック数を指定してください。

● マルチキャスト設定())

マルチキャスト送信を行う場合の設定を行います。このボタンをクリックすると、マルチキャスト送信設定ダイアログが表示されます。(⇒4.3.2)

設定した値を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す(R)]ボタンをクリックします。

Note: 送信中は送信プロパティの変更はできません。

#### 4.3.2 マルチキャスト送信設定ダイアログ

マルチキャスト送信設定ダイアログでは、マルチキャストパケットの TTL と、映像を送信するネット ワークインターフェースを設定できます。

送ſ	言するインターフェー	<u>64</u> スを指定する( <u>C</u> )	<u> ヘルプ(H)</u>
Ver	アドレス	名前	デバイス名
4 4	192.168.0.10 127.0.0.1	ローカル エリア MS TCP Loopb	3Com EtherLi MS TCP Loopb

● マルチキャスト TTL (<u>I</u>)

映像をマルチキャストで送る際のパケットの寿命を設定します。デフォルトは64です。

● 送信するインターフェースを指定する(C)

映像を送るネットワークインターフェース(NIC等)を指定する場合は、[送信するインターフェースを指定する(C)] にチェックを付けて、映像を送るネットワークインターフェースをクリックして 選択してください。指定しない場合は、OS が選択するデフォルトのネットワークインターフェース から送信します。

## 4.3.3 受信プロパティダイアログ

受信プロパティダイアログでは、以下の項目を設定できます。

受信プロパティ			
- IPパージョン(I) ● IPv4 ● IPv6	受信ボート番号(P) O DVTS (8000) 〇 カスタム: 8000	初期値に戻す(R) ヘルブ(H)	
マルチキャスト マルチキャスト 参加マルチキャスト 受信する	で受信(M) ヤストアドレス(A): インターフェースを指定する( <u>C</u> )		
IPアドレス	名前	デバイス名	
192.168.0 127.0.0.1	10 ローカル エリア接続 MS TCP Loopbac	Intel(R) 82559 F MS TCP Loopbac	
OK         キャンセル			

● IP バージョン(」)

使用する IP のバージョンを IPv4/IPv6 から選択できます。デフォルトは IPv4 です。(OS が IPv6 に対応していない場合は選択できません)

- [IPv4] 従来使われてきた IP のバージョンです。アドレスを 32 ビットで表現します。
- [IPv6] アドレス空間の増大やセキュリティーなどを考慮して IPv4を改良したプロトコルです。
- 受信ポート番号(P)

映像を受信するポート番号を指定します。デフォルトは8000番です。8000番以外のポートを使う場合は、[カスタム]を選択してポート番号を入力します。

● マルチキャストで受信(M)

マルチキャストで受信を行うかどうかを設定します。

マルチキャストは、送信側コンピューターから複数のコンピューターに対してデータを送信する ための方法のひとつです。送信側はマルチキャストアドレス宛にデータを送り、受信側はそのマ ルチキャストアドレス宛のデータを受信することで互いにデータをやり取りします。AT-VoN は1 対多のマルチキャストにのみ対応しています。

マルチキャスト受信を行う場合は、[マルチキャストで受信(M)]にチェックを付けて、参加するマルチキャストのアドレスを指定します。

■ 受信するインターフェースを選択する(C)

映像を受け取るネットワークインターフェース(NIC等)を指定する場合は、[受信するインターフェースを指定する(C)]にチェックを付けて、映像を受信するネットワークインターフェースを クリックして選択してください。複数のネットワークインターフェースを選択する場合は、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。 設定した値を初期値に戻す場合は、[初期値に戻す(R)]ボタンをクリックします。

Note: 受信中は受信プロパティの変更はできません。

## 4.3.4 バージョン情報ダイアログ

現在お使いの AT-VoN のバージョン情報とシリアル番号を表示します。サポートを受ける場合に はこのダイアログでバージョン情報やシリアル番号を確認してください。

バージョン情報			
1	AT-VoN シリアル番号:	Version 1.0.0 ****-****	ОК
Copy 開発	right (C) 2005 アラ 元 株式	イドテレシスホールディン 代会社アライドテレシスRi	ヴス株式会社 &Dセンター山梨

4

Chapter 5

# その他の機能

# 5.1 AT-VoN コマンドラインオプション

AT-VoN をコマンドプロンプト等から起動する場合、引数を指定することで起動時の設定を指定することができます。

#### 5.1.1 使用方法

- 書式
  - AT-VoN [-C 設定ファイル名]
    - [-S [-A] [-D 宛先アドレス] [-I 優先 IPバージョン] [-P 宛先ポート番号]
       [-F フレームレート] [-B ブロック数] [-T マルチキャスト TTL]
       [-V プレビュー画面表示の有無/解像度]]
    - [-R [-A] [-I 受信 IP バージョン] [-P 受信ポート番号]
       [-M 受信マルチキャストアドレス] [-V 受信画面表示の有無/解像度]
       [-0] ]
    - [-W [-F] [-A] [-T] ]
  - 設定ファイル名
     アプリケーションの設定を読み込むファイル名
  - 宛先アドレス 映像の送信先コンピューターのホスト名または IP アドレス
  - 優先 IP バージョン 映像送信時に優先的に使用する IP バージョン [4/6]
  - 宛先ポート番号
     映像を送信する宛先ポート番号 [1 ~ 65535]
  - フレームレート
     映像送信時のフレームレート [1/5/10/15/30]
  - ブロック数
     1 パケットで送信するブロック数 [1~17]
  - マルチキャスト TTL
     マルチキャスト送信時の IP パケットの TTL [1 ~ 255]
  - プレビュー画面表示の有無/解像度
     プレビュー画面表示の有無/解像度 [NONE:表示しない/HI:高/MID:中/LOW:低]
  - 受信 IP バージョン
     映像受信時に使用する IP バージョン [4/6]

- 受信ポート番号
   映像受信時のポート番号 [1 ~ 65535]
- 受信マルチキャストアドレス
   参加するマルチキャストアドレス
- 受信画面表示の有無/解像度
  受信画面の表示の有無/解像度 [NONE:表示しない/HI:高/MID:中/LOW:低]

Note: []内は指定できる値、または値の範囲

#### ● オプションの説明

- -C AT-VoNの設定を読み込むファイル名を指定する
- -S 送信設定を行う
  - -A AT-VoN 起動時に送信を自動的に開始する
  - -D 映像を送信する宛先を指定する
  - I 映像送信時に優先的に使用する IP バージョンを指定する
  - -P 映像を送信する宛先ポート番号を指定する
  - -F 映像送信時のフレームレートを指定する
  - -B 1パケットで送信するブロック数を指定する
  - -T マルチキャスト TTL を指定する
  - -V プレビュー画面表示の有無/解像度を指定する
- -R 受信設定を行う
  - -A AT-VoN 起動時に受信を自動的に開始する
  - -1 映像受信時に使用する IP バージョンを指定する
  - -P 映像を受信するポート番号を指定する
  - -₩ マルチキャスト受信を行う。また、参加するマルチキャストアドレスを指定する
  - -V 受信画面表示の有無/解像度を指定する
  - -0 IEEE1394 出力を行う
- -₩ ウィンドウ設定を行う
  - -F フルスクリーン表示を行う
  - -A ウィンドウの縦横比を4:3に固定する
  - 「常に最前面に表示する

### 5.1.2 制限事項

- オプション記号に大文字と小文字の区別はありません。
- 指定されなかったオプションは無視されます。(前回の AT-VoN 終了時の値が使用されます)
- -C オプションでファイルから設定を読み込む場合には、同時に指定したオプションより設定ファ イルの値が優先されます。
- コマンドの構文が間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。(AT-VoN は起動します)

# <u>Chapter 6</u>

# よくある質問(FAQ)

- **Q1.** Windows 2000 で IEEE1394 からの出力ができません。
- **A1.** IEEE1394 の出力機能は、Windows XP のみで使用できます。
- Q2. 映像が送信できません。または、受信できません。
- A2. 次の項目を確認してください。
  - a 宛先アドレス、宛先ポート番号、または、受信ポート番号の設定は正しく行われていますか?
  - b 送信側のコンピューターと受信側のコンピューターはネットワークに正しく接続されていますか?
  - c 参加するマルチキャストアドレスは正しく設定されていますか?
  - d 受信映像をウィンドウに表示する設定になっていますか?
  - e Windows ファイアウォール、パーソナルファイアウォールは正しく設定されていますか?
- Q3. 受信映像が粗く表示されます。
- A3. 受信映像の解像度の設定が [解像度-低] になっていると、受信映像が粗くなります。 [解像度-高] の設定で受信に問題が無い場合は、 [解像度-高] の設定で使用してください。 設定は [受信(R)] メニューの [ウィンドウに表示 (𝖤)] で行います。
- Q4. 受信映像がスムーズに再生されません。
- A4. 送信側コンピューターの [フレームレート(E)]の設定を上げてください。数値が大きいほど滑らかに 表示されます。設定は [送信(S)]メニューの [プロパティ(P)…]で行います。フレームレートを最大に しても解消されない場合は受信側コンピューターのパフォーマンスが不足している可能性があります。
- Q5. 複数の DV 機器を接続した場合、正常に動作しません。
- **A5.** 1 枚の IEEE1394 カードに複数の DV 機器を同時に接続すると不具合が出ることがあります。この場合、IEEE1394 カードを増設し、2 台目以降の DV 機器を増設した IEEE1394 カードに接続することで 不具合が解消することがあります。
- **Q6.** AT-VoN は他の DVTS ソフトと通信できますか?
- A6. AT-VoN と通信可能(双方向に映像の送受信が可能)な他の DVTS ソフトウェアとして、弊社では以下の DVTS ソフトウェアとの通信を確認しています。

製品名	バージョン	対応 OS	販売/配布元
DVcommXP	1.1 (Evaluation	Windows XP	株式会社電通国際情報サービス
	Build 9)		(開発:ファットウェア株式会社)
DVTS for Windows XP	1.01	Windows XP	WIDE プロジェクト
DVTS	1.0b	FreeBSD, NetBSD, Linux, Mac OS X	WIDE プロジェクト

※ユニキャストで双方向に映像を送受信し、AT-VoNと他の DVTS ソフトの双方で正常に映像が表示されることを確認。

※IP バージョンは IPv4を使用。

この検証結果は株式会社アライドテレシス R&D センター山梨での確認状況であり、AT-VoN と上記の DVTS ソフトとの通信を保証するものではありません。